

《主な内容》

- ▽まちのわだい 入学式 ほか
- ▽令和5年度 鱈ヶ沢町職員名簿
- ▽いきいき情報 個別健（検）診のお知らせ

《今月の表紙》

舞戸小学校入学式

詳細はまちのわだいをご覧ください

な一歩を踏み出した新入生



舞戸小学校



鱈ヶ沢ロータリークラブが児童用傘を寄贈

3月20日、鱈ヶ沢ロータリークラブの稲見鉄男会長と成田守男幹事が町役場を訪れ、児童用傘43本を寄贈しました。傘は、深くかぶっても視界が確保できるよう一部が透明になっており、また、傘のふちに反射材が使用されるなど安全面に工夫がされています。

稲見会長が「子どもたちの交通安全のために役立ててください」と話すと、阿彦教育長は「大切に使用させていただきます」と謝意を述べました。

傘は4月7日に行われた町内小学校入学式で、新1年生に配られました。



稲見会長(左)と阿彦教育長

小・中学校で入学式！新た

西海小学校



鱈ヶ沢中学校



4月7日、町立小・中学校で入学式が行われ、西海小学校（川浪久和校長）に13名、舞戸小学校（三橋豊校長）に30名、鱈ヶ沢中学校（相馬治校長）に60名が入学しました。舞戸小学校では、式が始まると、保護者の温かい拍手に迎えられながら新入生が入場。担任の先生に名前を呼ばれた新1年生は、立ち上がり大きな声で「はい！」と返事をしていました。

三橋校長は「友達との思い出を作りながら、一緒に楽しく勉強していきましょう」と新1年生に挨拶し、在校生を代表して加藤大惺君（6年）が「学校は楽しいことがいっぱい。分からないことがあったら僕たち上級生に聞いてください」と歓迎の言葉を述べました。

また、鱈ヶ沢中学校では、新入生を代表して三ツ谷芽さんが「自身の目標を達成するため、先生や先輩方から学び、仲間と支えあい、助け合っていきます」と誓いの言葉を述べました。

期待に胸を膨らませた新入生の学校生活がスタートしました！

町教職員合同着任式を開催

4月3日、町役場で「鱈ヶ沢町教職員合同着任式」が行われました。式では、町立小・中学校に着任した教職員16名を代表して舞戸小学校・木村浩二教頭が代表の挨拶をしました。

着任した教職員の皆さん（※敬省略）

■舞戸小学校

教頭 木村 浩二／教諭 一戸 直子
教諭 今 てるよ／教諭 川越 芳久
講師 神 京子／講師 長内 匡江
臨時事務職員 野呂 春子

■西海小学校

教諭 岩本美代子
教諭 高杉沙也香
教諭 佐藤 都武
講師 中濱 博之

■鱈ヶ沢中学校

教諭 乳井 博誉／教諭 齊藤 拓誠／主事 伊藤 舞羅
講師 外崎 葵／講師 今 一馬



代表挨拶をする木村教頭



日頃の練習の成果を堂々と披露する出演者

町老人クラブ連合会が芸能発表会を開催

3月12日、鱒ヶ沢町老人クラブ連合会（小島千代枝会長）主催の「芸能発表会」が舞戸公民館で開催され、約250名が来場しました。

4年ぶりの開催となった発表会には30組約60名が出演。自慢の歌や踊りを披露した出演者に対し、観客からは惜しみない拍手と歓声が送られていました。

小島会長は「会場が満員になって嬉しい。出演した人も来場者も、芸能発表会を生きがいにしている。開催して良かった」と話しました。

町内交通死亡事故ゼロ日継続3年を達成！

町では、3月20日に「交通死亡事故ゼロ日継続3年」を達成し、青森県知事表彰を受賞しました。同月27日、県庁で行われた表彰式に平田町長が出席し、石坂直人環境生活部長から表彰状が授与されました。

この表彰は、交通死亡事故の抑止に功績のあった市町村を表彰し、青森県の交通死亡事故の減少に向けた意識高揚を図ることを目的に行われています。

自動車・自転車の運転者も歩行者も、皆さん一人ひとりが交通ルールとマナーを守り、事故のない安心安全なまちづくりを目指しましょう。



石坂環境生活部長(左)と平田町長

町の観光交流キャラバン隊が秋田県北地域へ！～リゾート号で行く津軽秋田周遊ツアー～



北秋田市関係者との記念写真

4月9日、町は「リゾート号で行く津軽秋田周遊ツアー」を開催し、観光協会の会員など関係者42名が秋田県北地域を訪問しました。これは、津軽秋田県北地域の広域観光推進を目指し、両地域を五能線と奥羽本線により周遊できることのPRと、秋田県北地域の自治体との交流を深めるため行われました。

参加者は、リゾートしらかみ号などに乗車し、鷹ノ巣駅（秋田県北秋田市）と大館駅（秋田県大館市）で、両市の関係者から温かい歓迎を受けました。

平田町長は「このツアーが津軽地域や秋田県北を訪れる方の観光のヒントになれば」と話していました。



大館市関係者との記念写真



大館駅周辺の観光を楽しむ参加者

中村川流域治水に向けた 緊急対策メニュー等を公表

令和4年8月9日の大雨によって、町は360戸以上の家屋などに甚大な浸水被害を受けました。

被災後、町・県・国などの関係機関で構成する「中村川流域治水緊急対策推進会議」は、同様の被害を繰り返さないための対応策などについて議論を重ねてきました。

そして、3月20日、同会議は取りまとめた「緊急対策目標」と「緊急対策メニュー・ロードマップ」を公表しました。

緊急対策メニュー等公表までの流れ

昨年11月25日、「第1回中村川流域治水緊急対策推進会議」が開催されました。同会議では、甚大な浸水被害を受けた中村川流域について、流域に関わるあらゆる関係者みんなで地域住民の命と暮らしを守るという考えに基づき、被害の再発防止・軽減に向けた目標を共有し、各種緊急対策を一体的・計画的に推進していくことを確認しました。

1月19日に開催された第2回会議では、雨水・土砂流出の抑制など4つの「緊急対策目標」を決定しました。また、各関係機関が取組む緊急対策事業案と、事業案の取組開始時期や期間など全体像を把握しやすくしたロードマップ案が提出され、ワーキンググ

ループで引き続き検討していくことが確認されました。

そして、3月20日に行われた第3回会議では、雨水を貯留・浸透させるための施設整備や内水ハザードマップの作成・公表など各機関が担う対策とそれを時系列で表した「緊急対策メニュー・ロードマップ」が決定・公表されました。各機関の対策は、概ね10年をかけて実施されます。

平田町長は「今後はスピード感をもって着実に取組んでいく。また、住民の皆さまから理解と協力を得られるよう、取組に向けた周知を町と県でしっかりとやっていく」と話しました。



中村川流域治水緊急対策推進会議

中村川流域治水緊急対策推進会議 緊急対策目標・メニューと取組内容

緊急対策目標	緊急対策メニュー	取組内容
1. 雨水・土砂流出の抑制	①森林整備、砂防・治山対策の推進	森林整備、砂防、治山対策
	②雨水貯留の実践	水田貯留(田んぼダム)、雨水貯留・浸透施設の設置
2. 外水氾濫の防止	③災害復旧・河川改修の加速	被災施設の早期復旧、河川改修(改修後は河道の維持・管理)、人道橋架替、鉄道橋架替
	④新たな河川整備等に関する計画策定	河川整備計画の変更、気候変動を踏まえた河川整備基本方針の検討、流域水害対策計画の策定(特定都市河川の指定)
3. 内水被害の軽減	⑤雨水排水施設の整備(市街部)	雨水排水環境の調査、雨水排水施設の整備
	⑥水害を踏まえたまちづくりの検討	水害リスクのより低い区域への誘導(立地適正化計画の策定検討)、住まい方の工夫(災害危険区域の指定検討)
4. 逃げ遅れゼロ	⑦水害リスク情報・河川情報の充実	水害リスクマップの作成、内水ハザードマップの作成・公表、浸水想定水位看板の増設、水位観測所・監視カメラなどの増設、浸水センサーの設置
	⑧地域防災力の向上	水防体制の強化、自主防災組織の設立、避難訓練の実施、防災に関する普及・啓発、防災教育等の実施

※今後の検討などにより内容が変更となる場合があります。また、取組に要する期間や開始時期はそれぞれ異なります。
 ※詳細は、青森県ホームページ内「中村川流域治水緊急対策推進会議」のページをご確認ください。

JR 鰯ヶ沢駅と鰯ヶ沢高校を 結ぶ通学バスの運行を開始

町は4月より、JR 鰯ヶ沢駅と鰯ヶ沢高校（川浪泰浩校長）を結ぶ鰯ヶ沢専用通学バスの運行を開始しました。この通学バスは、町外からの入学者を確保するため、鰯ヶ沢高校が今年度から実施している登校時間の繰下げに連動し運行するものです。

これまで近隣市町から通学する生徒は、JR 五能線を利用すると早朝に起床し、かつ8時10分の登校時間より大幅に早く鰯ヶ沢駅に到着してしまうため、保護者が高校まで送迎しているケースが多く見られ、生徒や保護者の負担となっていました。

そこで、登校時間を30分遅らせるこ



通学バスに乗り込む鰯高生

とで、JR 五能線の1本遅い便での通学が可能となりました。

4月10日、鰯ヶ沢駅前通学バス運行セレモニーが行われました。同事業は、町と株式会社風力発電（鈴木亨代表取締役）、株式会社CSS（吉住謙代表取締役）の三者間で締結している「風力発電事業による鰯ヶ沢町まちづくり支援連携協定」の一環による両者からの企業版ふるさと納税を活用しており、セレモニーには鈴木代表取締役も出席しました。

セレモニーでは、平田町長が「鰯ヶ沢高校の入学者数確保に向けた取組を知ってもらい、多くの人に鰯ヶ沢高校を目指してもらいたい」と挨拶し、川浪校長は「通学バスを運行していただいたことで、生徒は早朝登校のストレスが減り、より勉学に専念できる環境になった」と感謝の言葉を述べました。また、これまでつがる市から保護者の送迎で通学していた工藤誠二さん（2年）は「母の負担が軽くなった。友達や新入生と一緒に電車で通うことができるのも楽しみ」と話していました。

町では引き続き、魅力ある授業や部活動、生徒が安心して高校生活を送れる環境づくりを支援していきます。また、鰯ヶ沢高校や関係団体と連携しながら、近隣の中学生から選ばれ、地域になくってはならない高校を目指します。

企業版ふるさと納税を活用し 鰯高支援事業などを実施

町では、持続可能なまちづくりを目的とした事業に「企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）」を活用しています。

令和4年度は、3事業者様より寄附をいただき、地域の稼ぐ力、地域の魅力の向上に関連した事業に活用しました。ご寄附いただいた皆さま、ありがとうございました。

●寄附の活用用途

① 鰯ヶ沢高校に対する支援事業
ドローンの操縦技術を学ぶ「鰯高みらい塾」を実施。また、鰯高後援会に助成金を交付し、各種検定・試験代、学校行事費、部活動遠征費、入学時必要経費（ジャージ、内履き、教科書など）を支援しました。

② 弘大生を対象とした地域産品PR事業
町と包括連携協定を締結している弘前大学の学生を対象に、「深谷の栗」を使用したスイーツを提供し、町のPR活動を実施しました。

③ 地域の農林水産物を活用した「食イベント」事業
町の主要産品のPRと地域のにぎわいを創出するため「あじがさわヒラメフェス（令和4年6月）」「あじがさわスイーツフェス（令和4年11月）」を開催しました。

※企業版ふるさと納税とは：
国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクト（まち・ひと・しごと創生鰯ヶ沢町総合戦略）に対し企業が寄附を行う制度です。企業が寄附を行った場合、課税上の特別措置を受けることができます。

令和4年度 企業版ふるさと納税寄附事業者

会社名	所在地	寄附額
株式会社 時雨堂	東京都台東区	500,000円
株式会社 市民風力発電	北海道札幌市	1,000,000円
株式会社 CSS	北海道札幌市	1,000,000円



鰯高みらい塾

関政策推進課 地域経営戦略班

(内)337



○令和4年度卒業生の進路決定状況

3月に卒業した卒業生10名の進路状況を紹介します。詳細は下の「令和4年度 卒業生の進路決定状況」のとおりです。

進学は、県内大学1名、県内短期大学1名、県内専門学校4名の計6名です。就職は、県内4名（うち公務員2名を含む）です。

卒業生は校内での講習やセミナーに取り組み、企業説明会に参加したり資格取得を目指したりと様々な努力を続けてきました。新3年生も努力と成長を続けながら、希望する進路を達成してくれることを期待しています。

○検定および認定試験合格者数

令和4年度の検定及び認定試験では、延べ63名が合格しました。詳細は下の「令和4年度 検定及び認定試験合格者数」とおりです。

令和4年度は昨年度に引き続き、各検定料・受検料の一部を本校後援会より補助し、生徒の資格取得を支援しました。商業・情報に関する検定を中心に、生徒たちは様々な資格に挑戦しました。令和5年度においても、資格取得に向けた生徒の頑張りに期待しています。

○教職員の異動

【退職者3名】

小館 宏(再任用で浪岡高校)
長谷川 洋一(再任用終了により本校で技能業務員)
松山 直美

【転出者3名】

小野 卓哉(五所川原工科高校)
古館 知樹(青森中央高校)
渋谷 依未(黒石高校)

【新年度より転入】

長谷川 葉子(商業)
成田 延寿(数学)
瓜田 貴子(英語)
飛内 伸哉(保健体育科)
鈴木 知郁子(養護助教諭)
野上 聖人(技能主事)
佐々木 尚子(理科・兼務講師)

新たな教職員を迎え、本校の教育活動をより一層盛り上げていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

～鯔ヶ沢高校行事予定～
(5月)

- 2日(火) 避難訓練①
- 12日(金) スマホ・ケータイ安全教室
- 24日(水)～26日(金) 1学期中間考査

令和4年度 検定及び認定試験合格者数

主催及び認定機関	検定・認定試験名	級	合格者数
日本電卓技能検定協会	電卓技能検定	3級	1名
全国商業高等学校協会	簿記実務検定	3級	1名
		1級	3名
		2級	5名
	ビジネス文書実務検定(速度部門)	3級	3名
		1級	3名
		2級	6名
日本情報処理検定協会	ビジネス文書実務検定(ビジネス文書部門)	3級	2名
		3級	5名
		1級	1名
	情報処理技能検定	1級	1名
		2級	2名
		3級	1名
	日本語ワープロ検定	1級	1名
		2級	4名
		3級	1名
		情報処理技能検定(表計算)	1級
2級			4名
準2級			1名
文書デザイン検定		1級	2名
	2級	1名	
	3級	2名	
プレゼンテーション作成検定	2級	1名	
	1級	1名	
	1級	1名	
ホームページ作成検定	2級	1名	
	準2級	1名	
	3級	4名	
日本漢字能力検定協会	日本漢字能力検定	準2級	1名
		3級	4名
		準2級	1名
日本英語検定協会	実用英語技能検定	3級	2名
		準2級	1名
		3級	2名
日本数学検定協会	実用数学技能検定	準2級	2名
		3級	4名
		準2級	2名
消防試験研究センター	危険物取扱者試験	丙種	2名

令和4年度 卒業生の進路決定状況

【進学】

①大学

・青森公立大学 経営経済学部経済学科

②短期大学

・青森中央短期大学 食物栄養学科

③専門学校

- ・あおもりコンピュータカレッジ ICTエキスパート科
- ・青い森林業アカデミー
- ・青森ビューティー&メディカル専門学校 トータルビューティー科
- ・SKK情報ビジネス専門学校 ITオフィスビジネスコース

【就職】

①県内

- ・社会福祉法人 拓心会 デイサービスセンター和み
- ・鯔ヶ沢町社会福祉協議会

②公務員

- ・青森県警察
- ・青森県職員(警察事務)

青森県立鯔ヶ沢高等学校 [☎72-2106]
HP: <http://www.ajigasawa-h.asn.ed.jp/>

ヶ沢町職員名簿

町長／平田 衛
教育長／阿彦 正弘

副町長／加藤 隆之
(令和5年4月1日現在)

庁舎1階

ほけん福祉課

課長 一戸 浩尚

【健康推進班】

班長 井上 信子
主幹 小笠原せき子
主任保健師 新保 尚子
副主任保健師 加藤 恵子
保健師 今 優菜
保健師 薦谷 美侑
専門員 齋藤 堤子

集団健(検)診、保健指導、母子保健、献血、各種予防接種、精神保健、新型コロナウイルスワクチン接種など

【国民健康保険班】

班長 葛西 準也
副主幹 澤田 和之
副主幹 山本 祐子
主査 佐藤 陽太
国保・高齢者医療制度、保険資格・給付など

【介護保険班】

班長 小沼 卓志
総括主幹 三上かおり
主幹 清野ゆかり
介護保険給付、介護認定事務など

【地域包括支援センター】

次長 神 静
主任保健師 菊谷由紀子
主事 神 紘弥
介護予防、権利擁護に関する相談、指定介護予防支援など

【福祉班】

班長 岩淵 宗嗣
主幹 相馬めぐみ
副主幹 丸山 慧
主事 下山 晃生
専門員 笹村 寛志
地域・障がい者福祉、生活保護、日本赤十字、民生児童委員など

【子ども家庭班】

班長 岩谷 夕子
総括主幹 太田 園子
主幹 吉田 聖
主事 石田早紀子
児童手当、児童相談、子育て支援、認定こども園・保育事務、子ども医療費給付など
(母子支援センター)
総括主幹 工藤 彩
妊産婦支援、放課後ルームなど

総合窓口課

課長兼会計管理者 小野 一成

課長代理兼会計班長事務取扱 長谷川英士

【課税班】

班長 須藤 久輝
主幹 岩本 哲也
主幹 工藤 真人
主幹 後藤 真理
主事 佐藤 光陸
主事 飛嶋 明

町民税・固定資産税ほか各種税に関する事務、各種課税証明等に関する事務など

【納税班】

班長 奥口 寿人
総括主幹 白取 輝也
専門員 寺沢 慎吾
専門員 斉藤 敦
専門員 神 直実

各種税の徴収及び滞納整理、納税相談、納税証明書等に関する事務など

【会計班】

主事補 加藤 真優
専門員 本間 勉
出納に関する事務、決算に関する事務など

【戸籍年金班】

班長 古舘裕香子
総括主幹 三橋美枝子
副主幹 神 あゆみ
戸籍・住民基本台帳事務、各種証明書、マイナンバーカード交付、国民年金事務相談など

【生活衛生班】

班長 一戸 孝美
専門員 千田 秀人
廃棄物対策、斎場・墓地公園の維持管理、犬の登録・狂犬病予防など

水道課

課長 木村 公紀

【上水道班】

班長 長谷川匡寛
総括主幹 神 和彦
総括主幹 奥口 貴光
主事 荒木関儀晃

上下水道料金徴収、水道に関する相談、水道施設の維持管理など

【下水道班】

班長 佐藤 一也
総括主幹 長谷川朝洋
主査 成田 裕貴
公共下水・農業集落排水施設の維持管理、下水道加入の普及など

農林水産課・農業委員会

課長兼事務局長 千島 裕治

【農業経営班】

班長 齋藤 正明
主幹 神 一馬
主事補 神 昌平
農業・農村振興、農業経営合理化、稲作・果樹・畑作振興に関する事など

【農業委員会】

次長 工藤 成人
主幹 齋藤 和裕
専門員 太田 稔
農業委員等に関する事務全般、農地等の調整・売却・調査事務、農政に係る調査・報告事務など

【水産班】

班長 加藤 信行
主事 齋藤 和樹
水産振興、水産施設の管理運営に関する事など

【環境整備班】

班長 井上 勇生
主幹 尾崎 敬一
主幹 世永 洋貴
主事 齋藤 元輝
農地保全・利活用、有害鳥獣対策、林業振興、農道・林道維持管理に関する事など

【派遣】

＜総務課付＞

つがる西北五広域連合

主査 山田 正樹 主査 今 弘和
つがる西北五広域連合 鱈ヶ沢病院
事務長 田村 光春 課長補佐 佐藤 仁
係長 工藤 俊明 主査 藤田 泉
主査 秋元 勝寿 主査 石田 朋昭
社会福祉士 奥口 康生 主事 工藤 優子

＜総合窓口課付＞

西海岸衛生処理組合

次長 碓谷 勝

※派遣職員は派遣先の職名で記載

～町職員の配置・主な業務内容 ほか～

庁舎2階

政策推進課

参事兼課長事務取扱 三上 竹久
政策推進監 金澤 雅人

【政策調整班】
班長兼地域経営戦略班長 長内 吉昭
主幹 橋本 麻美
主幹 中村 祐介
副主幹 齋藤 伸治
主査 石岡 美鈴
施策の総合調整、広報広聴、統計事務、公共交通、港湾利用促進、企業誘致、エネルギー対策に関することなど

【観光商工班】
班長 本間 達博
主幹 山中 智聡
主事 加藤 和輝
主事 長谷川美桜
主事補 工藤 豪
主事補 八木橋恵夢
観光・商工振興、観光施設の管理運営、白神山地の保全・利活用、ふるさと納税に関することなど

【地域経営戦略班】
主事 工藤 啓晃
主事 佐藤 芽衣
タウンプロモーションの推進、地方創生、移住・定住、地域おこし協力隊、鯨ヶ高連携、地域間交流など

総務課・選挙管理委員会

課長兼事務局長 神 広丈

【総務班】
班長(行政改革推進担当) 伊東 直樹
班長(総務・選挙担当) 岩谷美智也
総括主幹 世永 寿里
主幹 工藤 一磨
主幹 一戸 松郷
主幹 保村 一介
主査 神 和葵
主事補 寺沢 拓海
専門員 工藤 章彦
条例等の制定・改廃、入札・契約事務、行政連絡員、地縁団体、行政改革、選挙事務、秘書事務など

【人事班】
班長 齊藤 茂太
主幹 清野 美佳
主事 工藤 千晶
主事 岩谷 真季
主事補 工藤 慎司
職員の服務・給与・福利厚生、勤務条件、採用、定員管理に関することなど

【財政班】
班長 長尾 貴志
主査 澤田 亮太
主査 神守 陽輔
財政運営計画、予算編成及び運用、地方交付税、町債に関することなど

【防災班】
班長 吉田 康
主事 山下 公樹
地域防災計画、水防計画、防災行政無線の管理運営、防犯対策、自衛隊協力会に関することなど

教育委員会 学校教育課

課長兼学校給食センター所長事務取扱 清野 守

【学校教育班】
班長 碓谷 秀雄
主事 世永 綾
主事補 三上優莉彩
学校の管理運営に関する事務全般、教育支援に関することなど

【学校給食センター】
専門員 今 一仁
給食指導、栄養管理、調理・運搬業務、給食費徴収など

建設管財課

課長 澁谷 和彦

【都市計画班】
班長 新保 英樹
主査 工藤 嘉恭
都市計画、景観対策、大高山総合公園管理運営、町営住宅建設・管理、町有建築物の計画・施工・検査など

【財産管理班】
班長 吉田孝太郎
主事補 齋藤 舞京
専門員 工藤 幸仁
公有財産、法定外公共物に関する事務・財産区事務など

【土木班】
班長 工藤 輝幸
総括主幹 小野 厚
主幹 井上 弘成
主事補 鶴田 有也
土木工事の計画・実施、土木施設の災害防止等に関すること、町道・河川、街路灯の維持管理、除雪計画策定・実施など

教育委員会 社会教育課

課長 神 哲也

【社会教育班】
班長 奈良 貴光
総括学芸員 中田 書矢
総括主幹兼社会教育主事 豊澤 貴光
主幹 前田 輝美
主幹兼社会教育主事 長谷川恭一
副主幹 齋藤 愛子
主査 今 望美
専門員 櫻井 春樹
生涯学習、学校・家庭・地域連携、文化・芸術、文化財保護に関することなど

【スポーツ振興班】
班長兼温水プール管理班長 工藤 卓也
主事補 菊谷 香月
スポーツ振興に関することなど

【温水プール管理班】
専門員 生駒 康将
室内温水プールの管理運営に関すること

議会事務局

事務局長 中井 純一 次長 松宮 広枝
議会運営に関する事務全般

鯨ヶ沢町役場

所在地/〒038-2792 鯨ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321番地
電話番号/72-2111 (代表) FAX番号/72-2374
ホームページ/ <https://www.town.ajigasawa.lg.jp>
メールアドレス/ ajkoho@town.ajigasawa.lg.jp (代表)
ツイッターアカウント/ @ajigasawatown
LINE ID / @ajigasawa_town または こちらから



毎月1日は「あじがさわ健康の日」

5月のテーマ「たばこ」

たばこの種類とニコチンの関係



受動喫煙対策として「電子たばこ」や「加熱式たばこ」に変更したという方がいると思います。

「電子たばこ」も「加熱式たばこ」も紙たばこより副流煙は少なく、受動喫煙など健康被害への配慮はされているように思われますが、喫煙者本人の健康被害はなりません。

健康のため、家族のためと思い、紙たばこから「電子たばこ」「加熱式たばこ」に変更した方は、禁煙へもう一步踏み出してみませんか。

●「電子たばこ」と「加熱式たばこ」の特徴

電子たばこ



- ・たばこの葉を使用せず、液体（リキッド）を電気加熱して発生した蒸気を吸う
 - ・日本ではニコチンを含むものは販売できないためニコチンは含まれていない
 - ・依存性の高いニコチンが含まれていないため禁煙の一步として捉えられがちだが、発がん性物質を含む有害物質は含まれている
- ⇒「電子たばこ」に切り替えることができた人は、早めに禁煙に挑戦することをおすすめします

加熱式たばこ



- ・たばこの葉を加熱して発生する蒸気を吸う
- ・たばこの葉を加熱してニコチンをエアロゾルとして吸引するため、紙たばこと同じようにニコチン・発がん性物質を発生する

●成功する禁煙のポイント



- ・「私は、〇月△日から禁煙します」など、禁煙宣言をして、禁煙を始める日や目的・理由を書き留めて家族や周囲に理解してもらう
- ・禁煙開始日までに喫煙グッズを処分しておく
- ・いつも喫煙している場所（自室やキッチンの換気扇近くなど）に「禁煙」の貼り紙をする
- ・吸いたくなった時のためにノンシュガーのあめやガムを用意しておく
- ・歯磨きをする、深呼吸をする、軽く体を動かすなど気分転換をして気持ちいを紛らわす
- ・会合や宴会などアルコール+たばこの席を控える



私は〇〇〇を目的に禁煙します！



< COPD（慢性閉そく性肺疾患）について >

COPD（慢性閉そく性肺疾患）は、有害物質の刺激を長期間受けることにより、肺に炎症が起こり、肺の中の空気の流れが悪くなる病気で、主な原因は長期間にわたる喫煙といわれています。長期間喫煙をしていた方で、「慢性的な咳や痰」「息切れ」「胸部の不快感」がある方は、できるだけ早めに受診することをおすすめします。

五所川原保健所 こころの健康相談

5月11日（木）13：00～14：00 電話 0173-34-2108（要予約）



個別健(検)診のお知らせ

【申 込】： ☎72-2111 『個別健(検)診を受けたい』 と伝えてください
 メール： kenko01@town.ajigasawa.lg.jp

【特定健診・後期高齢者健診】

実施期間	令和5年8月1日から令和6年2月29日まで（後期高齢者は1月31日まで）
対 象	（年度末年齢）40歳以上の国民健康保険加入者および後期高齢者医療加入者
健 診 内 容	総合健診に準ずる ※医師の判断により一部の検査は実施しない場合があります
自己負担額	無料
指定医療機関	鱒ヶ沢病院 ☎72-3111 / 越前医院 ☎72-5151 / セツ石内科 ☎72-2879

【胃がん検診】

実施期間	令和5年6月1日から令和6年2月29日まで
対 象	（年度末年齢）50歳以上で昭和の偶数年生まれの方
検 診 内 容	胃内視鏡検査（胃カメラ）
自 己 負 担	2,000円
指定医療機関	鱒ヶ沢病院 ☎72-3111

注意

集団健診を受ける方は、個別健診で同じ種類の健(検)診を受診できません。

【婦人検診（子宮頸がん・乳がん）】 令和5年度から子宮体がん検診は実施しませんのでご注意ください。

実施期間	令和5年6月1日から令和6年2月29日まで
対 象	子宮頸がん （年度末年齢）20歳以上で昨年度未受診の方 乳 が ん （年度末年齢）40歳以上で昨年度未受診の方
検 診 内 容	子宮頸がん 頸部細胞診検査 乳 が ん マンモグラフィ ※妊娠中・授乳中・断乳1年未満の方は受診できません
自 己 負 担	各検診500円



■婦人検診指定医療機関■

	医療機関名	住 所	電話番号	子宮	乳
つがる市	加藤レディースクリニック	つがる市木造赤根13-143	0173-26-7068	○	
五所川原市	エルム女性クリニック	五所川原市中央4丁目93	0173-38-4188	○	
	安斎レディースクリニック	五所川原市一ツ谷536-18	0173-33-1103	○	
	中村整形外科医院	五所川原市一ツ谷508-12	0173-34-0123		○
弘 前 市	いちろうクリニック	弘前市大字早稲田4丁目1-5	0172-26-1692	○	
	くりたクリニック	弘前市大字表町2-11 弘前ステーションビル アプリーズ4階	0172-31-2100		○
	健生病院	弘前市大字扇町2丁目2-2	0172-55-7717	○	○
	弘前総合医療センター	弘前市大字富野町1	0172-32-4311	○	
	ゆざわ産婦人科クリニック	弘前市大字品川町48-1	0172-35-4635	○	
	しらとりレディースクリニック	弘前市大字豊原2丁目1-2	0172-33-2822	○	
	鳴海病院健康管理センター	弘前市大字品川町19	0172-37-2550	○	○
	婦人科さかもともみクリニック	弘前市大字早稲田3丁目20-6	0172-29-5080	○	
	弘前レディースクリニック	弘前市大字駅前町8-1 大町タウンビル3F	0172-35-2110	○	
	藤盛医院	弘前市大字品川町27-1	0172-32-0974	○	
	メーラ. レディースクリニック	弘前市大字東長町60-2	0172-31-1882	○	
	レディースクリニックすごう	弘前市大字外崎5丁目7-4	0172-28-8181	○	
弘前市医師会健診センター	弘前市大字野田2丁目7-1	0172-39-6611	○	○	

【5月の乳幼児健診日程】 ※受付時間をご確認の上、ご来場ください。

健診	健診日 [受付時間]	場所	対象	持ち物
3歳児健診	5月18日(木) [12:20~12:40]	中央公民館 2階和室	令和元年9・10・11生まれ	母子健康手帳 バスタオル 送付される問診票 ほか
乳児健診	5月25日(木) [13:00~13:20]		3か月児：令和5年 1月生まれ 6か月児：令和4年11月生まれ 10か月児：令和4年 7月生まれ	母子健康手帳 バスタオル
すくすく健診	5月26日(金) [12:50~13:00]		令和2年9・10・11生まれ	母子健康手帳 バスタオル 送付される問診票 ほか

協会けんぽ加入者（被扶養者）の方へ
～『特定健診』のお知らせ～

国保以外の協会けんぽ加入者（被扶養者）も、町の総合健診会場で特定健診を受けることができます。

各種がん検診も併せて受診することもできます。



【受診までの流れ】

- ①受診券を確認する（4月中にご自宅へ郵送されます）
- ②健診日を決める（健診の詳しい日程は、3月下旬に毎戸配布した『令和5年度鱒ヶ沢町各種健(検)診ポスター』をご覧ください）
- ③青森県総合健診センターに申し込む（☎017-741-2336）

＜お問合せ先＞

特定健診について…協会けんぽ青森支部（☎017-721-2723）

各種がん検診について…ほけん福祉課 健康推進班（☎72-2111）

☎・☎ほけん福祉課 健康推進班(☎144・145・146・147)

新型コロナワクチン

**令和5年春開始接種は
5月15日から開始！**

令和5年度の新型コロナワクチン接種は、5月15日から町内3診療所で自己負担なしで接種できます。

接種対象や接種日などの詳しい内容は、広報あじがさわ5月号と一緒に毎戸配布する「新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせvol.15」をご覧ください。

☎鱒ヶ沢町新型コロナウイルス
ワクチン接種対策室[☎82-0909]



母子支援センターだより



母子支援センターでは、妊娠・出産・育児について、助産師による訪問ケアやメール・電話相談などを行っています。里帰り出産の方もお気軽にご相談ください。事業の一部をご紹介します。

★産前産後ケア事業(無料・里帰りの方も利用できます)

- ・妊娠中の訪問：妊娠中の各種指導や産後ケアの希望などを話し合います。
- ・出産後の訪問：母乳育児のためのケアや体重測定、哺乳量の測定、断乳のケア、育児指導などを行います。

★育児用品の貸出(無料・里帰りの方も利用できます)

ベビーベッドやチャイルドシートなどを貸出します。使用場所での禁煙をお願いします。(チャイルドシートはお子さんお一人につき1台まで)

★乳児すこやか支援事業(町民の方が対象です)

生後から1歳までに、8回に分けて合計40袋のおむつを支給します。

★ママサポート事業(有料・里帰りの方も利用できます)

- ・一時預かり保育・病後児保育：
母子支援ヘルパーが保育サービスを行います。
- ・家事援助：母子支援ヘルパーが家事・買い物・洗濯・炊事などをお手伝いします。

★出産・育児応援給付金事業(町民の方が対象です)

妊娠届の提出後と出生届の提出後に給付金を支給します。

★離乳食教室、ベビーマッサージ教室も予定しています。



☎ほけん福祉課 子ども家庭班 母子支援センター(☎156)

メールアドレス：boshi-center@town.ajigasawa.lg.jp

こんにちは！地域包括支援センターです！！

元気な高齢者を増やすために ～令和5年度の主な予定～



若々しく歳を重ねるには、人と会うことが一番効果的！重い腰をちょっと上げて、気軽に参加してみませんか？

料金は、①～④は初回参加時200円（2回目以降無料）、⑤～⑧は無料です。

（＊開催日／場所）



①オレンジカフェ けやぐんど

昨年度までの「認知症カフェけやぐんど」から「オレンジカフェ けやぐんど」へ名称を変更。コーヒーやお茶を飲みながら、認知症についての学習をしたり、まったりおしゃべりをしたりするカフェです。お気軽にお立ち寄りください。

＊第3火曜日／舞戸公民館



②生きがい趣味の会

自由時間は、好きなことに没頭して過ごしてみませんか？

楽しみながら頭や手を動かすことは、認知症の予防につながります。思わぬ才能が見つかるかもしれませんよ。

- ・書道 後藤シゲ子先生
- ・手芸（パッチワーク） 工藤弘子先生

＊第2・第4木曜日／舞戸公民館

＊4/27（木）からスタート

＊事前申込み必要

＊年度途中からの参加可能



③いきいき元気水中運動教室

プールで楽しく体を動かし、心も体もリフレッシュ！水中運動なので、膝が痛い方も楽に運動ができます。

＊毎週水曜日／室内温水プール

＊5/12～9/22に実施

＊事前申込み必要

＊年度途中からの参加可能



④いきいき元気運動教室

リズムに合わせて身体も脳も動かします。

チャレンジするだけで大成功！

楽しくなければ続かない！

たくさん笑って汗をかきましょう。

＊1～3月 毎週水曜日／舞戸公民館



⑤脳の健康チェック

タブレットを使った簡単な脳の健康チェックです。

結果はその場でお渡しします。

＊6/1（木）・11/1（水）・3/1（金）

／役場1階町民ホール



⑥超高齢社会を考える学習会

鯉ヶ沢町の高齢化率は45%を超えています。

この「超高齢社会」を元気に生きるための学習会です。健康づくりから終活まで、みんなで一緒に考えてみましょう。

＊毎週水曜日／舞戸公民館

＊11月に開催します。



⑦認知症フォーラム

様々な展示や催し物をとおして、「認知症になっても笑顔で暮らせる鯉ヶ沢」を目指しましょう！

＊9/21（木）／舞戸公民館

⑧オレンジライトアップ

9/21は世界アルツハイマーデーです。

アルツハイマー病などに関する認識を高め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらすことを目的としています。シンボルカラーであるオレンジ色にライトアップします。

＊9/21（木）／鯉ヶ沢駅前



カードゲームを使って「終活」について考える（超高齢社会を考える学習会）

行政相談をご利用ください

行政相談委員は、町民の皆さまが毎日の暮らしの中で、行政が行う仕事についての苦情や意見・要望などがあつたときに、もっとも身近な相談相手です。「苦情を直接申し出にくい」「どこへ申し出たらいいかわからない」「苦情を申し出たがその措置に納得できない」などという場合は、お気軽にご利用ください。相談は無料、秘密は厳守します。

行政相談委員は、世永星さんです。

行政相談日▶毎月第2火曜日

9:00~12:00

場所▶町役場1階 談話室1

※行政相談委員は、ボランティアで総務大臣が委嘱しています。



☎総務課 総務班(☎325)

令和5年度町税等の納期限

税金等の種類	納付月										
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
軽自動車税	全期										
固定資産税	1期		2期		3期		4期				
町県民税		1期		2期		3期		4期			
国民健康保険税			1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	
介護保険料											
後期高齢者医療保険料			1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期

※納付月の末日が納期限となっておりますが、その日が土・日・祝日の場合は翌日が納期限日となります。

なお、12月の町県民税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の納期限は12月25日(月)となります。

町税などの納付

町税などは、定められた納期限までに納入しましょう。

納付場所は、総合窓口課会計班・青森銀行・みちのく銀行・つがるにしきた農協・ゆうちょ銀行・コンビニ各店となっております。

また、納め忘れの心配のない口座振替もご利用できます。口座振替の方法は、納付書をご覧ください。なお、納期限が過ぎ督促状が発送された場合は、督促手数料(100円)や延滞金が加算されます。

5月31日(水)は

【全期】軽自動車税

【第1期】固定資産税 の納期限となっております。

～納め忘れのないようお願いします～

口座振替で納付いただいている方は、納期限までに口座残高の確認をお願いします。

5月は町税の「完納強化月間」！～納税相談はお早めに～

納期限までに納付が難しい場合には、分割納付などの「納税相談」を行っていますので、お早めにご相談ください。

☎総合窓口課 納税班(☎184・185)

身体などに障がいのある方の軽自動車税を減免します

令和5年4月1日現在、身体障害者手帳、療育(愛護)手帳及び精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方で、その障がいの程度や自動車の使用状況が一定の条件に該当するとき、及び車体の形状が車いす移動車となっているときは、申請により軽自動車税の減免を受けることができます。減免申請は毎年行う必要がありますので、忘れないようお願いします。

なお、減免の対象となる軽自動車は手帳の交付を受けている方1人につき1台に限られており、また普通自動車税と重複減免はできません。

申請期間▶納付書到着後から5月31日(水)まで(土・日・祝日は除く)

申請場所▶総合窓口課 課税班

持参する物▶①交付されている手帳 ②運転される方の運転免許証 ③印鑑 ④軽自動車税納付書

⑤納税義務者の個人番号(通知)カード(代理人が申請にくる場合は代理人の本人確認書類)

⑥車いす移動車については車検証

※令和5年度軽自動車税納付書は、5月1日(月)以降順次発送予定です。

※障がいなどの「一定の条件」については事前にお問合せください。



☎総合窓口課 課税班(☎186・187)

緑の募金にご協力をお願いします

4月1日から5月31日まで「緑の募金」運動を展開しています。

皆さまのご協力は「緑の募金」を通して、「森づくり・人づくり」活動の活性化に生かされます。町では、緑の少年団の活動費、小・中学校の花壇整備や、町内の緑化活動に活用しています。皆さまのご理解ご協力をお願いします。



★5月12日（金）、町内数か所で街頭募金を行います。

岡町緑化推進委員会事務局 農林水産課 環境整備班(☎223)

令和5年度 つがる西北五広域連合病院事業 医療職員採用試験（第1回）

試験日▶6月25日（日） 受付期限▶6月2日（金）まで 採用日▶令和6年4月1日

職 種	採用予定人数	受 験 資 格
看護師・助産師	45名程度	昭和54年4月2日以降に生まれた方で、左記職種の免許を有する方 または令和6年4月30日までに免許を取得する見込みのある方
診療放射線技師	2名程度	昭和59年4月2日以降に生まれた方で左記職種の免許を有する方 または令和6年4月30日までに免許を取得する見込みのある方
臨床検査技師	3名程度	

※理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の職種及び第1回試験で募集人数に達しなかった職種は、10月15日（日）に第2回試験を実施します。8月上旬に第2回採用試験の案内を当広域連合ホームページ等にて掲載予定です。採用試験の詳細は、つがる西北五広域連合ホームページ（<http://www.tsgren.jp/>）をご確認ください。

☎・☎つがる西北五広域連合 病院運営局人事課[☎0173-26-6363]

★今月のおすすめ本★

《一般書》「マチネの終わりに」

著：平野 啓一郎／出版社：毎日新聞出版

クラシックギタリストの蒔野と、海外の通信社に勤務する洋子の出会いから始まります。初めて出会った時から、強く惹かれ合っていた2人。しかし、洋子には婚約者がいました。



やがて、蒔野と洋子の間にすれ違いが生じ、ついに2人の関係は途絶えてしまいます。互いへの愛を断ち切れぬまま、別々の道を歩む2人の運命が再び交わる日はくるのか。

《児童書》「桃太郎、エステへ行く」

作：細川 徹／絵：五月女 ケイ子

出版社：講談社



桃太郎だって鬼退治以外にもやりたいことがあったはず…。そんな妄想を爆発させて生まれたおバカでキュートな昔ばなしが本になったよ！オトナもコドモもみんなで読もう！

あの特命係の相棒が正直いいさんだったら？あの銀行マンが「さるかに合戦」にいっちょ噛んでいたら？テレビでよく見るあの人が昔ばなしの世界で大暴れる「テレビ昔ばなし」も収録。

おすすめ本は、日本海拠点館図書コーナーで借りることができますので、ぜひご利用ください。

なお、新刊図書は好評につき、貸出中の場合があります。

1人2冊までの貸出制限にご理解とご協力をお願いいたします。〈予約可〉

開館時間▶9:00~18:00 休館日▶月、火曜日

（図書コーナーのみ第4木曜日もお休みです。）

☎日本海拠点館 図書コーナー[☎72-5555]

鱈ヶ沢病院外来診療日のご案内

【窓口受付時間】8:15~11:00

★耳鼻咽喉科の再来機受付は7:00~14:30です。
診察時間は13:30頃になります。

＜受付曜日＞○印 新患 △印 再来
(令和5年4月1日現在)

診 療 科	月	火	水	木	金
内 科	○△	○△	○△	○△	○△
糖尿病外来		○△	○△		
外 科	○△	○△	○△	○△	○△
整形外科	○△	○△	○△	○△	○△
小 児 科	○△			○△	
眼 科				○△	○△
耳鼻咽喉科	○△	○△	朝治療	朝治療	○△
歯 科	○△	○△	○△	○△	○△
婦 人 科	※都合により休診となります				

※ゴールデンウィーク期間は、救急外来のみ。

※休診については、防災行政無線等でお知らせします。

小児科外来受付時間変更のお知らせ

都合により、下記外来受付時間は変更となります。

小児科外来 5月11日（木）

変更前▶8:15~11:00⇒変更後▶8:15~10:30



☎つがる西北五広域連合 鱈ヶ沢病院[☎72-3111]

光信公の館オープン

光信公の館が、5月1日（月）にオープンします。10月31日までの期間のうち、金・土・日・祝日のみ開館となりますので、ご注意ください。なお、5月1日（月）～7日（日）は休まず開館します。

開館時間▶ 5月～8月 9：00～17：00
9月～10月 9：00～16：30

入館料▶ 一般 300円／高校生 220円
小・中学生 150円／幼児 無料

解説会のご案内

種里城跡及び館内展示品に関する解説（1時間程度）を行います。ぜひ、ご参加ください。

日時▶ 5月1日（月）
セレモニー 10：00～
解説会 10：30～

解説者▶ 町総括学芸員 中田 書矢

集合場所▶ 光信公の館駐車場 案内看板前



町社会教育課 社会教育班(☎364)
光信公の館[☎79-2535]

町内環境美化運動にご協力ください

町では環境美化運動の推進を図るため、「側溝泥上げ」と「ごみ拾い」の活動実施を各町内会に依頼しています。

【側溝泥上げについて】

期間▶ 4月22日（土）から5月7日（日）まで
回収日▶ 5月12日（金）予定

側溝の汚泥は、必ず土のう袋に入れてください。※発泡スチロールの箱や木箱に入れた汚泥は回収しません。

汚泥を入れた土のう袋は、できるだけ同じ場所にまとめてください。

【ごみ拾いについて】

ごみ拾いをする際は、燃えるごみ・燃えないごみの分別の徹底をお願いします。分別不十分なおみや肥料袋などに入れたごみは回収できないだけでなく、処理場（エコクリーンアファイ）への搬入もお断りしますので、ご注意ください。



ごみ袋は、町指定ごみ袋を利用または町が配布するボランティア用ごみ袋を利用申請してください。

詳しくは、各町内会長または下記までお問合せください。

町総合窓口課 生活衛生班(☎164・167)

こんにちは！地域おこし協力隊です

4月号で中村亮介の退任のお話がありましたが、私、川村の活動も6月末で終了となります。協力隊退任後は、長崎県五島市にある福江島という離島に移住予定です。あと数か月しか残っておりませんが、引き続きよろしくお願ひいたします。

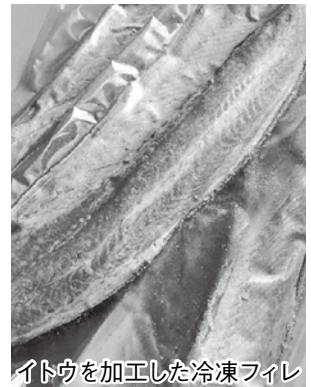
現在の協力隊の活動としては、イトウを加工して冷凍フィレを作り、県外のホテルなどに卸しています。イトウを捌くのは他の魚と違って少し面倒です。最も厄介なのがイトウの表面のヌメリです。サケのヌメリと似ていて、うろこをとってもヌメリは無くなりません。まな板の上でヌルヌルと滑るので、とても捌きづらいです。次に厄介なのが、骨が柔らかい点です。身を切っているつもりが、骨を切っても気づかないことがあって、その後の補修に困ります。イトウは他にもなぜかうろこがとりづらい個体があったり、中骨が他の魚とは違う位置にあったりと、私にとっては厄介な点が多いです。

しかし、完成したフィレは県外のホテルでは大好評のようで、とてもやりがいのある仕事だと感じています。今後、「鱈ヶ沢といえばイトウだ！」と全国各地で知られるようになることを願ひながら、引き続き加工を頑張りたいと思います。

（地域おこし協力隊 川村 遊）



町の特産品・イトウ



イトウを加工した冷凍フィレ



ツイッター
@aji_gyogyo



インスタグラム
@aji_gyogyo

ツイッター・インスタグラム 更新中！

鱈ヶ沢で獲れている魚をツイッターやインスタグラムで紹介しています。ぜひフォローをお願いします。

鯉ヶ沢スイミングクラブ 新年度会員募集中!

◆幼児コース (5歳児・6歳児)		*年会費 4,000円	月会費	運営費
練習日	週2回 木曜日・土曜日		5,440円	500円
	週1回 ①木曜日 ②土曜日		3,140円	
練習時間	木曜日 15:30~16:30 土曜日 15:00~16:00			
内容	水慣れから泳法取得まで			

◆学童コース (小学1年生~6年生)		*年会費 4,000円	月会費	運営費
練習日	週2回 ①水・木 ②水・金 ③水・土 ④木・金 ⑤木・土 ⑥金・土		5,440円	500円
	週1回 ①水曜日 ②木曜日 ③金曜日 ④土曜日		3,140円	
練習時間	水曜日~金曜日 16:30~17:30 土曜日 16:00~17:00			
内容	水慣れから泳法取得まで(17級~7級) 育成(6級~2級・特A~C) 各年齢・各種目別の進級タイムを目指し練習します 6級 50m背泳ぎ、5級 50mクロール、4級 50m平泳ぎ、3級 50mバタフライ、2級 100m個人メドレー、特A 100m背泳ぎ・クロール、特B 100m平泳ぎ・バタフライ、特C 200m個人メドレー			

※幼児・学童コースはテスト合格時認定料がかかります。

◆選手育成コース (小学生)		*年会費 4,000円	月会費	運営費
練習日時	水曜日~金曜日 18:00~20:00		7,850円	500円
	土曜日・日曜日・祝日 10:00~12:00			
内容	各泳法の基礎を習得し、体力の向上と技術を学びながら選手を目指します。柔軟・ストレッチ・スイム練習など			

◆選手コース (小学3年生~高校3年生)		*年会費 4,000円	月会費	運営費
練習日時	水曜日~金曜日 18:00~20:00		7,850円	500円
	土曜日・日曜日・祝日 9:00~12:00			
内容	正しいフォームやスプリント・持久力など基礎練習を徹底し、チームワークや精神力を高めます。また、大会などに参加し全国大会出場を目指します。			

※幼児~選手コースに入会される方には、必ず『まちこみメール』の登録をお願いしています。

◆一般コース (18歳以上)		*年会費 4,000円	月会費	運営費
練習日時	水曜日・木曜日・金曜日 13:30~14:30		5,440円	500円
内容	練習前半 水曜日:水中ウォーク 木曜日:アクアサイズ 金曜日:アクアピクス 練習後半 水・木・金曜日共通:泳法指導 上記練習日+プール開放時間内(自由泳)であれば何回でも利用可能です。			
◆シニアコース (60歳以上) ※内容は一般コースと同じです。			3,140円	500円

※月会費と運営費を合計した額が月に納入する額です

入会時用意するもの

- ①入会申込書
- ②印鑑
- ③年会費(年1回)
- ④月会費+運営費(1か月分)
- ⑤指定水着代(幼児・学童のみ)
- ⑥指定帽子代(幼児・学童のみ)

室内温水プール臨時休館情報

5月28日(日)
津軽地区春季水泳競技大会
詳細は下記までお問合せください。



危険物取扱者試験事前講習会

青森県危険物安全協会連合会西北五支部では、危険物取扱者試験事前講習会を開催します。

日時▶ 5月23日(火) 9:00~16:30
法令(危険物関係の法令)
5月24日(水) 9:00~16:30
実務(危険物の性質他)
※受付は5月23日8:30より

場所▶ 五所川原市民学習情報センター
視聴覚室

受講料など

(1)受講料 7,000円(2日間)

(2)テキスト代

乙4 4,500円(実務、法令、例題集)
丙種 3,900円(実務、法令、例題集)

その他

- ・講習会の申込は、当日会場で受付
- ・講習はテキストに基づき実施します
- ・テキストは4月下旬までには準備できる予定です(事前販売可)

新型コロナウイルス感染症の対応

講習会は上記日程で実施予定ですが、国や県などから中止要請された場合などは、中止となる可能性があります。その場合、東奥日報でのみご案内いたしますのでご注意ください。

☎青森県危険物安全協会連合会
西北五支部事務局(岩川)
[☎0173-34-3165]

スマホ教室を開催

わかりやすく、丁寧に、スマートフォン(スマホ)の使い方をお伝えします。au以外の方も、スマホをお持ちでない方もぜひご参加ください。参加申込は不要です。詳細は下記までお問合せください。

場所▶ 舞戸公民館 講習室

日時▶ 5月20日(土)、5月21日(日)
10:00~12:00、13:00~15:00

参加費▶ 無料

☎auStyleイオンモールつがる柏
[☎0800-700-2157]

自動車税種別割のグリーン化制度

自動車環境対策の観点から、排出ガス性能及び燃費性能の優れた環境負荷の小さい自動車については、その排出ガス性能及び燃費性能に応じて税率を軽減(軽課)し、初回新規登録から一定の年数を経過した環境負荷の大きい自動車については税率を重く(重課)する「自動車税種別割のグリーン化特例」が実施されています。

なお、令和4年4月1日から令和6年3月31日までに初回新規登録する自家用の乗用車については、グリーン化特例(軽課)の適用対象が電気自動車等に限定されます。

詳しくは、青森県ホームページ「県税・市町村税インフォメーション(<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/soumu/zeimu/top.html>)」をご覧ください。

☎西北地域県民局県税部 納税管理課
[☎0173-34-3141]

鯨ヶ沢町地域職業相談室のご案内

鯨ヶ沢町地域職業相談室は、ハローワークと鯨ヶ沢町の共同運営施設です。お仕事の内容や応募条件の確認、面接対策や応募書類の書き方など、皆さまのお仕事探しのお手伝いを行っています。

また、全国のハローワークで受付した求人票を見ることができ、季節求人も含め随時更新されています。ぜひ、お気軽にご利用ください。

利用日▶ 月~金曜日

(土日祝・年末年始除く)

時間▶ 9:30~17:00

場所▶ 鯨ヶ沢町中央公民館1階

☎鯨ヶ沢町地域職業相談室
[☎72-3124]

生活に関するお悩みはこちらへ あんしん相談窓口あじがさわ

鯨ヶ沢町社会福祉協議会では、生活していくうえで様々な課題を抱える住民の方を支援するための相談を受付けています。

また、相談ツールのひとつとして、メール相談・LINE相談も行っています。ひとりで悩まず、お気軽に下記までご相談ください。

費用は無料、秘密は厳守します。

メール相談用アドレス

ajisya@r15.7-dj.com

LINE相談はこちらから

アクセスしてください



☎鯨ヶ沢町社会福祉協議会
[☎82-1602]

医療法人 泉衆会



七ツ石内科

鯨ヶ沢町大字七ツ石町27-1

TEL 0173-72-2879

厚生労働大臣認定

今労働衛生コンサルタント・産業医事務所

院長 今 昭人

■受付時間 / 午前 8:30~13:00
午後 14:30~18:00

■休診日 / 木曜日・日曜日・祝日

現金買取 鉄・非鉄・農機具類

株式会社 高橋商事 五所川原営業所

引取りもご相談ください

つがる市柏鷺坂清見 71-16



TEL 0173-26-7576



相続土地国庫帰属制度が 始まりました

令和5年4月27日から、相続などにより取得した土地所有権の国庫への帰属に関する制度「相続土地国庫帰属制度」が全国の法務局で始まりました。詳しくは法務省HP (<https://www.moj.go.jp/>) をご覧いただくか、下記までお問合せください。

相続土地国庫帰属制度のポイント

- ・相続などにより取得した土地について、所有者からの申請により、所有権を国に移転することができるようになります。
- ・申請先は、土地の所在地を管轄する法務局です。
- ・帰属させることができる土地は、建物がないことなど法令で定める要件を満たす必要があります。
- ・本制度の活用には、負担金の納付などの費用負担が必要です。

青森県地方務局登記部門
☎017-776-6231

相談支援サポートセンター 「ねっと！ひまわり」のご案内

西北地区特別支援連携協議会では、相談支援サポートセンター「ねっと！ひまわり」を設置して、遊びや学び、発達などに関する相談や支援を行っています。

ご利用は事前予約制のため、下記相談日の1週間前までに電話またはメールで事務局へお申し込みください。相談は無料です。

対象者▶乳児から高校生、ご家族や担任の先生など

場所▶鱒ヶ沢町中央公民館

相談日▶5月24日(水)、6月14日(水)、6月28日(水)、7月5日(水)、7月26日(水)、9月13日(水)、9月27日(水)、10月11日(水)、10月25日(水)、11月8日(水)、11月29日(水)、12月13日(水)

青森県立森田養護学校
☎0173-26-2610
himawari-mrt.sh@asn.ed.jp

見え方のお悩みに関する 「サテライト相談教室」開催

青森県立盲学校ロービジョン相談支援センターでは、見え方で困っている方の相談をお受けしています。ご本人はもちろん、保護者、学校などの先生など、お気軽にご相談ください。費用は無料、秘密は厳守します。

開催日▶5月25日(木)、6月29日(木)、9月7日(木)、10月19日(木)、11月30日(木)

時間▶10:00~12:00、13:00~15:00

場所▶五所川原市中央公民館

対象▶乳幼児から成人の方まで

内容▶板書が苦手、音読がうまくできない、物を斜めから見るなど目の使い方への対処、見え方に配慮した育児方法や便利グッズの紹介、学級における指導方法など

※事前にお電話で「見え方の相談」とご予約ください。予約受付は平日9時から16時まで(土・日・祝日除く)。

青森県立盲学校
ロービジョン相談支援センター
☎017-726-2239

風車部材輸送に伴う通行規制のお知らせ

深浦町で施工中の風力発電所建設工事において、津軽港-深浦町の国道101号線・広域農道で、風車部材の夜間輸送を始めます。

5月中旬から11月上旬にかけて、夜間輸送中に通行規制を行いますので、ご注意ください。ご協力、よろしくお申し上げます。

輸送計画

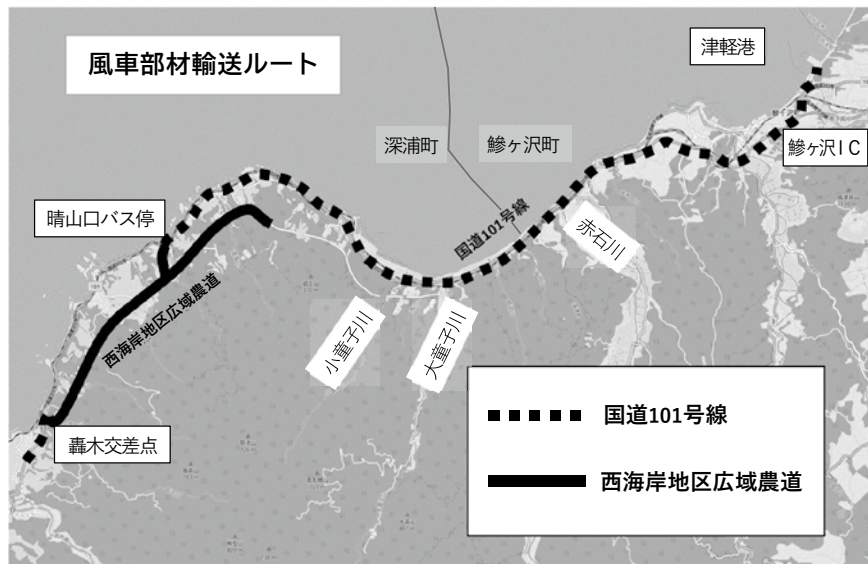
輸送時間帯▶21:00~翌6:00

1日当たりの輸送回数▶2~3台程度

※輸送中は通行止めではありませんが、輸送車両が通過するのを待っていただくことがあります。

※輸送計画は現在の予定であり、事業の進捗などにより変更する場合があります。

株式会社 大林組
☎0173-82-0901



広報あじがさわ有料広告

社会福祉法人 音羽会

〒038-2712 鱒ヶ沢町大字長平町字甲音羽山 65-412

介護老人保健施設 ながだい荘 (入所・通所)

☎0173-72-1122

グループホーム うぐいすの里 ☎0173-72-1314

〒036-8066 弘前市向瀬字豊田 319-1

住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅

シニアシティ弘前

☎0172-55-5858

天然温泉、全個室：エアコン・トイレ・洗面台・ミニキッチン (IHヒータ) 付

ホームページ <http://otowakai.or.jp/>

～ 有料広告募集中 ～

「広報あじがさわ」に

広告を掲載しませんか？

★規格・掲載料一例(町内)★

1号：タテ45mm×ヨコ85mm 5,090円

2号：タテ45mm×ヨコ180mm 10,190円

※詳細は下記までご相談ください。

閩総務課 総務班(☎325・327・328)

白八幡宮大祭

令和7年
開催への道

一昨年コロナにより延期、昨年の大雨災害により中止

鯨ヶ沢町で4年に一度行われる白八幡宮大祭は、京都祇園祭の流れをくむ祭りで、北前船が伝えた「津軽の京祭り」とされています。県と町の無形民俗文化財に指定され、また、国の日本遺産「北前船寄港地」構成文化財にもなっている、わが町を代表する伝統行事です。

大祭は、本来であれば令和3年に開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により1年延期され、さらに令和4年8月9日に町を襲った大雨災害により中止となりました。そして白八幡宮をはじめとする関連団体の代表者会議により、次の開催年を令和7年とすることが決定されました。大祭をめぐるこの激動の1年を振り返ります。

■大祭文化の保存・伝承活動

白八幡宮大祭文化保存会（杉澤廉晴 会長）では、昨年1年を通じ、大祭の歴史文化伝承のためさまざまな活動を続けてきました。

大祭の開催前には、町内の全ての小・中学生に大祭文化を知ってもらう「ふるさと学習」を実施。小学校では、



鉦叩きの体験学習（西海小学校）



白八幡宮大祭展（弘前市山車展示館）



弘前市山車展示館で鯨ヶ沢のお囃子を披露

祭りのお囃子に親しむため、恒例の鉦叩き体験も行われました。さらに7月には、歴史的につながらの深い弘前市で出張PR展示会や、鯨ヶ沢と弘前の祭り文化の魅力を語り合うフォーラムを開催。8日間の催しに計700人が来場するなど、大祭への気運を盛り上げました。

■大雨災害による中止とその後

一方、8月14～16日の大祭開催に向けては、大祭実行委員会（太田正光会長）が発足し、各団体と連絡調整を図りながら、着々とその準備が進められました。白八幡宮の氏子・総代による神輿の準備や境内の整備、各町内では子どもたちの囃子や踊りの練習、8月には山車も完成し、いよいよ祭り本番を待つだけとなったのです。

しかし8月9日、町を襲った記録的豪雨により、浸水や土砂崩れなどの深刻な被害が町内各所に発生。災害への対応から、実行委員会と神社、町当局が協議を行い急きよ大祭（神輿渡御）の中止が決定されました。これを受けて、白八幡宮では神社で通常の例祭を執行。町内会も山車運行を取りやめ、各小屋で山車8台を展示しました。

この他、七ツ石町・漁師町・新町の町内会では、子どもたちの練習の成果を披露するため1度限りの踊りの上演も行われました。



七ツ石町 夜神楽



漁師町 チャンチャレシヨ



新町 カシ襦袢

令和4年8月14・15日 子どもたちの芸能披露

■次回開催は令和7年に

中止となった大祭の次回開催については、大祭実行委員会発起人（町観光協会長・町商工会長・鯨ヶ沢地区町内会連絡協議会長）が中心となり、白八幡宮関係者をはじめとする関連11団体の代表者会議を12月20日に開催。会議では、資金面、参加者確保など様々な課題があるなかで、各団体が万全を期して大祭に向かうことができる令和7年（本来行われる予定だった令和3年の4年後）に開催することが全会一致で決定しました。

激動の年、令和4年の大祭は中止となりましたが、各団体が大祭直前まで準備を整え、さまざまな文化伝承活動に取り組む、伝統をつなぐうえで大きな足跡を残しました。

その一つ一つの積み重ねが、コロナ禍や災害を乗り越え、伝統文化を未来に伝える原動力になっていくものと信じています。

（町学芸員 中田）

津軽の中の鯨ヶ沢

第27回

九浦制度の成立・展開と鯨ヶ沢⑫

今回は、18世紀後半に鯨ヶ沢で行われていた抜荷の取り締まりを強化したことで、深浦湊をはじめとする日本海沿岸の湊で抜荷が活発になったことについて述べました。今回は、抜荷がそのような地域的な広がりとともに、人的な広がりも見せていたことについて紹介します。

天明3年（1783）8月、藩内で大規模に行われている米の抜荷に対して、藩は取り締まりを指示しました。このとき対象になった抜荷とは、馬で運搬を行う駄賃付けの農民が、運んでいる米を抜き取るというものでした。米は、津軽半島の村々から青森湊と鯨ヶ沢湊の御蔵へ運ぶ際に抜き取られ、両浜や近くの湊から密かに移出されてきました。しかも、藩が取り調べをすると、農民や村役人はともども言い逃れをし、米の流通を管理するために各地に設置された米留番所の役人に銭や酒肴の賄賂を贈って悪米を納め、あるいは米留番所を忍び通って、用意した船で密かに米を移出するといった行方もみられ、藩は「諸役人の掟を掠め、諸人の痛みをわきまえず、盗賊・海賊同然の行為」と断罪しました。このように、農民の抜荷に藩の役人が関与・結託するような動きもみられました。

また、青森湊では、青森船問屋が抜荷を行い、それにより問屋廃業処分を受けた例もあります。船問屋は、荷物を廻送する船と荷主との間に入り、荷揚げや荷積み、船の手配などの業務を斡旋する商人のことをいいます。つまり、流通や運輸を担う船問屋自身が、抜荷に加担する動きもあったのです。

そして、文政7年（1824）12月には、青森・鯨ヶ沢・油川の各湊の船問屋に対して、荷揚げ・荷積みなどのときに船問屋から酒肴や弁当などを諸役人に差し出してはいけないという饗応禁止令が藩から命じられており、船問屋と湊関係の役人との癒着があったこともわかります。

藩内外の運輸・流通を担う船問屋や商人だけでなく、運輸・流通統制を担う藩の役人も抜荷に関与していたのです。これに対し、藩は再三取り締まり強化を命じますが、もはや実効性はありませんでした。

こうして、九浦制度が崩壊していきますが、この動きと並行して日本海海運は北前船の全盛時代を迎えます。どのようにして北前船が登場したのか、次回紹介したいと思います。

（北斗高校 蔦谷大輔）

大然水害の遺産



～あじがさわウォーク特別編開催～



かつて大然集落があった白神キャンプ場
山津波により村は一夜にして消滅した



生存者16人が逃れた高台の大山祇神社
現在の大然集落は一ッ森の近くに移転している

町教育委員会では、町民の健康づくりの一環として、四季折々の自然を楽しむ「あじがさわウォーク」を季節ごとに開催しています。3月21日には、かつて山津波によって消滅した大然集落の水害の遺産をめぐる歴史特別編が開催されました。

終戦の年、昭和20年3月22日に赤石川上流で発生した雪解けの山津波（雪泥流）は、大然と佐内の集落を押し流し、88人が犠牲となる大惨事を引き起こしました。この痛ましい雪泥流による災害は、国内でも最大規模とされています。今回、その発生の日に合わせて行われたウォークには町内外から約20名が参加。災害当日の様子に思いをはせながら、雪に覆われた集落跡、生存者たちが避難した大山祇神社などをめぐりました。そして遭難者追悼碑に黙とうを捧げ、歴史の日を偲びました。

大然の悲劇は、白神山地の豊かな自然が、里の村々に山の恵みだけでなく、時に過酷な試練を与える存在であったことを教えてくれます。白神山地は、そこに暮らす人々の生活と関わり合って歴史を重ねてきたともいえるでしょう。世界自然遺産登録30周年を迎える今年、地域に育まれた歴史・文化の視点から、私なりにその価値を掘り下げてみたいと考えています。

（町学芸員 中田）

災害の詳しい状況は鶴田要一郎著『岩壁』『続岩壁』をご覧ください【日本海拠点館図書コーナーで貸出中】

防災

災害時に備える

※町では「出前防災講座」を実施しています。町内会で自主防災組織を立ち上げてみませんか。講座の申込・お問合わせは下記までご連絡ください。

☎総務課 防災班 (☎317・318)

◆住まいが被害を受けたとき 最初にすること

春を迎え、雪解けの時期となっています。雪解け水が河川に流れ込むことで水位が急激に上昇し、河川の氾濫が生じるおそれがあります。災害は起きないに越したことはありませんが、起きてしまったときに備え、住まいが被害を受けたときの対応を確認しておきましょう。

被災したときに最初にすること

住まいが被害を受けたときは、早く家の片付けや修復作業に取り掛かりたくなるかもしれませんが、しかし、その前に、まずやっておきたい重要なことがあります。

それは「被害状況を写真で記録すること」です。忘れずに家の被害状況を写真に撮っておきましょう。町から

罹災証明書(※)を取得して支援を受ける際や、損害保険を請求する際などに、大変役立ちます。

※罹災証明書とは、災害により被害を受けた居住・所有する住まいに対してその被害の程度を公的に証明するものです。



被災状況が分かるように写真を撮りましょう

写真の撮り方のポイント

①家の外

- ・カメラやスマートフォンなどでなるべく4方向から撮る
- ・浸水した場合は浸水の深さも分かるように撮る(メジャーなどをあてて「引き」と「寄り」の写真を撮ると、被害の大きさが良くわかります)

②家の中

- ・被災した部屋ごとに全景を撮る
- ・それぞれの被災箇所を「寄り」で撮る
- ・システムキッチンや洗面台などの住宅設備、家電などの被害状況も撮っておく
- ・自転車、物置、農機具などの被害状況も撮っておく

片付けや修復作業をするとき

被災した住まいの片付けや修復作業は、ほこりなどを避け、釘や木材などでけがをしないような服装で行いましょう。こまめに水分を取り、焦らず、体調を管理しながら作業を進めましょう。

ボランティアの支援を受けられることもありますので、手助けが必要なときは、災害ボランティアセンターに相談しましょう。

また、被災者の方々が1日も早く日常の生活を取り戻せるように、行政や

NPO法人なども、様々な支援に動き出します。それらの支援も受けながら、一歩ずつ再建を進めていきましょう。

なお、災害後は、修復作業の請負を装う詐欺が発生する傾向がありますので、十分注意しましょう。

作業時の服装・持ち物の一例

- 帽子、ヘルメット
- 軍手やゴム手袋
- 長袖・長ズボン
- 食べ物・飲み物
- マスク
- タオル
- 着替え
- 常備薬、目薬



など

参考文献・画像出典

政府広報オンライン

今月の戸籍の窓

※下記は、関係者に確認のうえ、了承を得た方のみ掲載しています。

お悔やみ申し上げます(3月16日～4月15日届出分)

井上	アキエ	(88歳)	和開開	拓
佐藤	正 榮	(74歳)	種 里	町
兼平	セツコ	(80歳)	金	沢
一戸	ユキエ	(96歳)	中 村	町
木村	辰 男	(81歳)	建 石	町
若崎	忠 彦	(60歳)	田 中	町
稲見	武	(87歳)	舞 戸 東	町
一戸	い さ	(92歳)	中 村	町
木村	義 雄	(92歳)	建 石	町
北嶋	優 藏	(91歳)	田 中	町
奥口	ミツエ	(102歳)	日 照 田	町
村元	政 哉	(80歳)	小	夜
晴山	孫太郎	(88歳)	林	町
齋藤	武 治	(84歳)		館
木村	ヒサエ	(81歳)	建 石	町
木村	強 喜	(68歳)	建 石	町
神	さ だ	(92歳)	小 屋 敷	町
太田	キクエ	(92歳)	小 森	町
浅見	ヒサイ	(90歳)	林	町

鱒ヶ沢町の人口 (令和5年3月末現在)

男 4,165人(4,182 -17) 女 4,723人(4,758 -35)
計 8,888人(8,940 -52) 世帯数 4,386(4,393 - 7)
※カッコ内は先月との比較

交通事故発生状況 (令和5年3月中)

発生件数 3件(+ 2) 死者数 0人(± 0)
傷者数 3人(+ 2) ※カッコ内は前年との比較
《お問合せ》鱒ヶ沢警察署交通課 (☎72-2151)



法テラス鱒ヶ沢通信 Vol.90

裁判所からの手紙

茶色の窓付封筒に「〇〇地方裁判所」や「〇〇簡易裁判所」と書いてあり、その近くには「特別送達」と物々しい文字が並んでいる郵便物、裁判所からの手紙はある日突然届きます。受け取らずにしていると、そのうち、受け取ったということにする手続きを取られてしまいます。

このような郵便が届いたら、まずは受け取って中身を確認しましょう。受取拒否をしても中身を見ていなくても裁判手続きは進んでいきます。郵便物の中身は最近はやりの詐欺の手紙かもしれませんし、本当に対応が必要な裁判の通知かもしれません。

中身を確認したら、早めに法テラスや弁護士会等にご相談ください。

弁護士 遠藤 弘士

法テラス
迷うあなたの
道しるべ



遠藤弁護士

【法テラス鱒ヶ沢法律事務所の概要】

- ◆所在地 〒038-2761
鱒ヶ沢町大字舞戸町字後家屋敷9-4
鱒ヶ沢町総合保健福祉センター内
- ◆業務時間 月～金 9:00～17:00
(土・日・祝日は休業)
- ◆電話番号 050-3383-8369
- ◆業 務
 - ①法律相談 (面談による相談。★事前予約制★)
 - ・有料での法律相談
 - ・無料法律相談 (収入や預貯金が少ない方。ただし、刑事事件に関する相談は対象外。)

～鱒ヶ沢町にお住まいのみなさまへ～

弁護士に相談することなのか分からない場合でもお気軽にお電話ください!!
お待ちしております。

日本トップレベル選手が競う！ 全日本スキー選手権 開催

3月18日から2日間にわたり、第29回全日本スキー選手権スノーボード競技ハーフパイプ種目が青森スプリングスキーリゾートで開催されました。

大会には、北京五輪スノーボードハーフパイプに出場した平野海祝選手らを含む、男子40名と女子20名の総勢60名がエントリーしました。全長150m、幅20m、高さ7mのコース上で、各選手が華麗な技を披露し、熱戦が繰り広げられました。

男子は決勝で94.5点を出した山田琉聖選手（クルーズ）、女子は91.5点を出した工藤璃星選手（ホクトスポーツ）が優勝し、多くの観客が選手の演技を見守り、拍手で選手の健闘をたたえていました。

また、3月17日には全日本ジュニアスキー選手権大会スノーボード競技ハーフパイプ種目が行われ、同大会の小学校4～6年生男子の部に青森市の一戸翼君、小学校3年生女子の部に妹の優愛さんのきょうだいが出場しました。一戸君は「緊張したが自分の実力を出せた。来年も参加したい」と話していました。



女子の部で優勝した工藤選手



男子の部で優勝した山田選手



力の限りを尽くして観客の前で技を決める選手

春からよろしくお祈いします！

新採用職員紹介

今年度から鯉ヶ沢町職員となった4名を紹介します。4月1日付の異動に係る職員名簿は8～9ページをご覧ください。

総務課 主事補

くどう しんじ
工藤 慎司 (中村町)

鯉ヶ沢町の発展のため、町民の方々のより良い暮らしのため、自分にできることを精一杯頑張っていきます。



建設管財課 主事補

つるた ゆうや
鶴田 有也 (坂本二)

仕事を1日でも早く覚え、町民の皆さまのために誠心誠意努力していきたいと思っております。



建設管財課 主事補

さいとう まひろ
齋藤 舞京 (北浮田町)

1日でも早く仕事に慣れ、地元である鯉ヶ沢町をより良いまちにできるよう精一杯頑張っていきます。



教育委員会

社会教育課 主事補

きくや かづき
菊谷 香月 (田中町)

町民の方々のために1日でも早く仕事を覚えれるように努めます。

